

## 昭和52年度第3回シグマ研究委員会運営委員会議事録

日 時 昭和52年7月15日(金) 11:00~17:00  
場 所 日本原子力研究所東海研 研2棟222号室  
出席者 塚田(主査・原研), 百田(東北大), 松延(住友原工), 中嶋(法政大), 飯島(NAIG), 大竹(動燃), 関(MAPI), 田中, 更田, 五十嵐, 宮坂(原研)  
オブザーバー: 田村, 菊池(康), 浅見(哲)

### 配布資料

1. 前回議事録
2. 核物理委員会議事録
3. 専門部会, ワーキング・グループの名称(案)
4. 核構造・崩壊データWGの現状
5. 9th INDC Meeting Actions
6. Transactions of ANS 26(1977)480
7. Specialist Meeting on Neutron Data of Structural Materials for Fast Neutrons
8. ORNL/RSICよりの手紙

### 議 事

1. 前回議事録確認
2. Mass Chain Evaluation  
田村氏より資料(4)にもとづいて, 核構造・崩壊データWGの最近の活動状況の説明があり, 討議が行われた。
3. 2年報  
飯島委員より, JENDL-1とその積分テストのことを主体にしたいとの説明があった。また, JENDLについて学会誌の「資料」欄に載せるか2年報の appendix とするかを検討することになった。
4. 学会 Informal Meeting  
百田氏(東北大), 井上氏(北大), 飯島氏(NAIG)に講演を依頼することになった。

5. 専門部会，ワーキング・グループの編成・名称

更田委員より資料(3)にもとづいて事務局案の説明があった後，討議が行われた。その結果，活動内容に則した名称にすることから，専門部会およびWGの名称を一部変更して次のようにすることが決まった。これに伴い，重核データWG（旧核データ評価WG）と軽・中重核データWG（旧融合炉核データWG）との間で，実状に合わせてWGメンバーの移動を行うことになった。

核データ専門部会

重核データ・ワーキンググループ

FP核データ・ワーキンググループ

軽・中重核データ・ワーキンググループ

炉定数専門部会

FP炉定数ワーキンググループ

遮蔽定数ワーキンググループ

JENDL積分評価ワーキンググループ

核構造・崩壊データ専門部会

燃料計量核データ・ワーキンググループ

崩壊熱評価ワーキンググループ

核構造データ・ワーキンググループ

CINDAグループ

WRENDAGグループ

熱中性子文献グループ

また，上記の英語名を次のようにすることにした。

Subcommittee on Nuclear Data

Working Group on Heavy-Nuclide Nuclear Data

Working Group on Fission-Product Nuclear Data

Working Group on Light-and Medium-Nuclide Nuclear Data

Subcommittee on Reactor Constants

Working Group on Fission-Product Group Constants

Working Group on Group Constants Shieldings

Working Group on Integral Tests for JENDL

Subcommittee on Nuclear Structure and Decay Data

Working Group on Nuclear Data for Safeguards Techniques

Working Group on Evaluation of Decay Heat

Working Group on Nuclear Structure Data

CINDA Group

WRENDA Group

Thermal Neutron Scattering Bibliography Group

#### 6. 遮蔽定数WGの計画

宮坂委員より遮蔽定数WGの最近の概要について説明があり、現在の作業はfileづくりが中心で、この作業は本年度に終了すること、evaluationの作業のためにはメンバーの再編成の必要なことが述べられた。これに対し、fileづくりだけでなく、ベンチマークテスト等のfeed backまでやる必要のあること、52年度以降のことは予算要求との関係で早くはつきりさせる必要のあること等の意見が出た。

これらの関連して、更田委員より資料(6)の紹介が行われた。

#### 7. Presymposium

更田委員より外国人出席者の返事の状況が説明され、出席可能な者が僅少のためpresymposiumの開催は無理との結論に達した。なお、状況によっては東京で随時に懇談の会合を考えることにした。

#### 8. 事務局報告

- 1) 7月1日より核データセンターが発足したことが紹介され、関係箇所に挨拶状を出すことにした。
- 2) 1978年9月のHarwell ConfでNuclear data for safeguardsについての講演を更田委員が依頼されたが、INDCの会合とつながっているので受諾したとの報告があった。
- 3) NEA Specialist Meetingに関する資料(7)の説明
- 4) 資料(2)による核物理委員会の報告
- 5) 国際度量衡委員会放射線諮問委員会第3部会(52.5.30~6.1)に出席した電総研寺西氏よりの情報の紹介
- 6) ORNL/RSICよりの手紙(資料(8))の紹介
- 7) 第9回INDC Meetingのactions list(資料(5))の説明があり、とくにfusion data advisory meeting, delayed neutron meetingについては、次回に意見を出してもらうことになった。

その後、自由討議に入り、JENDLとWGとの関係、evaluationのやり方等について意見交換を行った。

次回は8月19日(金)東京本部(11:00~17:00)とすることにした。

以 上